

平成 2 6 年度国民体育大会山形県予選会

山 岳 競 技 実 施 要 領

1 種目共通事項

1) ゼッケンは、規定のものを各チームで準備し、選手は競技開始通告前に取り付けること。

① 取り付け位置は、上半身の衣服の背面中央部とし、競技中に脱落しないように縫い付けること。安全ピンの使用は認めない。

② サイズは、「縦 1 5 c m 横 2 0 c m」の白布に、黒油性インク等で、少年は学校名・氏名を、成年は所属名・氏名を明瞭に表示する。

[表示例]

酒	田	工	業
山	川	登	

A	P	米	沢
天	地	仁	

③ ゼッケンを付けていない選手は競技に参加できない。

2) 「棄権届」「健康チェック表」は、受付で配布する。

3) 「健康チェック表」は、競技開始通告（点呼）時に提出すること。

4) 順位の決定

① 両種目とも、予選・決勝は行わず、同着の場合は、ボルダリングは順位を共有し、リードは所要時間の短い方を上位とする。

② 種別総合順位については、各種目の順位を合計して、合計値の少ない順に順位を決定する。但し、同点の場合は種目順位の高い順に順位を決める。それも同点の場合は、順位を共有する。

5) 表彰は、種別・種目毎に 1 位にメダルを授与し、3 位まで賞状を授与する。

6) 国民体育大会及び東北総合体育大会代表選手選考

競技種目の成績により、種別毎の審査を受けた選手の中から国体委員会で選抜編成する。

7) スタート順序は、監督会議において決定する。少年は監督が、成年は選手が、監督会議に参加すること。

8) ハーネス、クライミングシューズ等の貸し借りは認めない。また、内ズックを持参すること。

2 リード競技

（日本山岳協会リード競技規則を準用する。）

1) 競技方法

① 集 合 競技に参加する選手は、競技開始通告までに、指定された場所に集合する。

② 点 呼 審判員は、主任審判員が競技開始通告をした後、点呼を実施して必要事項の説明及び注意事項を伝達する。

③ 準 備 選手は、指示、確認及び伝達事項に基づいて競技の準備を行う。

④ オブザベーション オブザベーションは 5 分間とする。その際のメモ用紙は主催者側で準備する。（筆記具は各自で準備する。）

⑤ スタート 監督会議で決めた順で、種別毎に同一のルートで競技を行う。

⑥ 競技終了 選手は、競技エリアの外に出る。

⑦ 終了通告 主任審判員は、種別毎に全選手の競技が終了した後、アナウンスにより競技終了通告を行う。

2) 審査の内容及び項目

- ① 審査は、到達高度について行う。到達高度は、保持した最高遠点のホールドの位置をもって判定する。
 - ・ 保持したホールドの高度には末尾番号を付けない。
 - ・ 保持し、さらにルート上を前進するための動作を起こしたホールドの高度にはプラス（＋）の末尾符号をつける。
- ② 登り方は、成年・少年ともにオンサイト・リード方式とする。
- ③ ハーネスへの接続は8の字結びとする。
- ④ 選手はクイックドロウ（ヌンチャク）に順番にロープをかけていくこと。
- ④ 完登とは、最後のホールドを保持し、終了点カラビナにロープをクリップしたときをいう。
- ⑥ 指定時間は**6分**とする。（選手が競技エリアに入った時点から計時する。）

3) 成績と順位

個人ごとの到達高度により、個人順位を決定する。

4) その他

リード競技の準備は、6月13日から始めているので、練習等でのボード使用は6月11日までとする。13日から20日の準備中の選手・監督のクライミングボード付近への立ち入りは禁止する。

3 ボルダリング競技

（日本山岳協会ボルダリング競技規則を準用する。）

1) 競技方法

- ① 集 合 競技に参加する選手は、競技開始通告までに、指定された場所に集合する。
- ② 点 呼 審判員は、主任審判員が競技開始通告をした後、点呼を実施して必要事項の説明及び注意事項を伝達する。
- ③ 準 備 選手は、指示、確認及び伝達事項に基づいて競技の準備を行う。
- ④ オブザベーション オブザベーションは5分間とする。その際のメモ用紙は主催者側で準備する。（筆記具は各自で準備する。）
- ⑤ 競技の進行 監督会議で決めた順で、種別毎に競技を行う。
- ⑥ アテンプトと時間 アテンプトの指定時間は、少年は5分間、成年は5分間とする。
 - ・ 最初の競技時間（5分）に最初のボルダーのアテンプトを行う。
 - ・ 次に、5分の休憩をとる。
 - ・ 次の競技時間（5分）に2番目のボルダーのアテンプトを行う。
 - ・ 次に、5分の休憩をとる。
 - ・ 次の競技時間（5分）に3番目のボルダーのアテンプトを行う。
 - ・ 次に、5分の休憩をとる。
 - ・ 次の競技時間（5分）に4番目のボルダーのアテンプトを行う。
- ⑦ 競技終了 4番目のアテンプトを終了した選手は、競技エリアの外に出る。
- ⑧ 解 散 主任審判員は、種別毎に全選手の競技が終了し、全選手が揃ったことを確認した後、競技終了通告を行い解散する。

2) 審査及び順位の決定

- ① 審査は、ボルダリング競技規則第6条により行う。
- ② 順位は、ボルダリング競技規則第7条の1により個人順位を付ける。

3) その他

- ① 選手は、アテンプト時間内に地面から届く範囲でクリーニングを行うことができる。
- ② 競技の準備は、6月15日から始めているので、練習等でのボード使用は6月14日までとする。以降大会まで、選手・監督のクライミングボード付近への立ち入りは禁止する。